

研修会だより

編集・発行 北海道立生涯学習推進センター
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 8階
電話 011-204-5781 ファックス 011-261-7431
E-mail kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp
ホームページアドレス http://manabi.pref.hokkaido.jp/



「常識や価値観を根本からなくす・疑う」ことが
「魅力あるまちづくり」を考える第一歩！！

◆◆平成26年度課題対応型学習活性化セミナー終了◆◆

＜研修テーマ＞ 「地域の存続につながる後継者の育成」
～人口減少・若者の流出に「待った」をかける地域づくりを考える～

平成26年9月4日（木）、5日（金）に道民活動センタービル「かでる2・7」を会場に、平成26年度課題対応型学習活性化セミナーを開催しました。40名の定員に対し、社会教育関係団体職員や民間団体（NPO・企業）関係者等が道内各地から総勢56名参加し、「魅力あるまちづくり」について考えました。本号ではその研修内容のポイントを紹介します。

研修テーマと研修の流れについて

北海道の最重要課題に視点を当てる

日本創成会議の人口減少検討分科会の試算で道内自治体の78.2%、147市区町村が消滅可能性都市とされ、人口減少の問題は道の最重要課題となっている。

総務相の人口動態調査で生産年齢人口の割合が60%を切り、働き手となる年齢層が減少し地域経済、コミュニティの維持が困難と指摘されている。

＜このような状況などを受け＞

北海道教育委員会では、若者の自己肯定感を育みながら、夢や希望を描くことのできる地域づくりの推進が課題となっている。地域を存続させるためには、その地域に根ざす人材が必要であり、若者の流出に伴う都市への一極集中の流れを止めるためにも若者のまちへの愛着と自己肯定感を養い、自分に自信を持って活動できる人材の育成と北海道らしい地域づくりを推進していくことが必要である。

セミナーの流れと講師

＜セミナーの流れ＞

講義

ワークショップ

全体交流

今回は、講義での講師の話のポイントをお伝えします。（裏面を御覧ください）

＜とを考えました＞



＜講師紹介＞

若新 雄純氏 NEET 株式会社代表取締役会長 慶應義塾大学特任助教
福井県若狭町の御出身で、宮城大学を卒業後、就労困難者向けの就労サービスを行う株式会社ウイングを起業、取締役に就任したが、自ら会社を退き、慶應義塾大学大学院で、産業・組織心理学とコミュニケーション論の研究を積み、NEET 株式会社を設立する。

様々な企業の人材コンサルティングを行う一方で、「NEET 株式会社」をはじめ、新しい働き方や組織づくり、まちづくりなどを模索・提案する実験的プログラムや広報プロジェクトを多数企画・実施している。新しい発想で展開する取組はマスコミにも多く取り上げられている。



NEET株式会社と鯖江市役所JK課の取組は「常識や価値観を根本からなくす」ことから始まった！！



NEET株式会社の事例から・・・

NEET ⇒ 学生でもない、訓練もされてない、雇用もされてない
世の中の97.7%が一般人（学生や就労している人）
2.3%がニート（多様な人）

多様（マニアック）な人であるが、異常ではない

（NEET株式会社の設立の発想はここ）
かなり多様（マニアック）な人を活用することで
何かできるかも知れないと考えた

NEETの置かれている環境を理解する（ことで）

2.3%のかなり少数派の者たちによる、常識にとらわれない新しい会社の形を考える

全員平等に権利（役員）を持ち、運営する会社を設立

NEET株式会社の誕生

鯖江市役所JK課の事例から・・・

大人（行政職員）の目 → 女子高校生に何ができるのか

女子高校生は、なぜ、がんばるのか

JK課 女子高校生の考えた企画

- * ゴミ拾い「びかびかプラン」
- * 「JKスイーツ企画」
- * 図書館情報アプリ「Sabota」の開発
- * 児童キャンプの実施
- * 市民対話勉強会 etc

（多様な発想で新しいことを考えた）

4つの大きな価値観の転換

- ① 教える → 教えない
- ② かたい → ゆるい
- ③ 成功 → 成長
- ④ 非日常 → 日常

新しいコミュニケーションと相互支援の場が生まれた

関係性は

今までは支援者（行政職員）が納得することを・・・

関わる当事者（女子高校生）が「納得すること」へシフト ⇒ 大切なのは当事者（女子高校生）が日常的な「プロセス」を楽しむこと

講義のまとめから

社会は激変しているが・・・
若者たちは進化の過程（途中段階）

◇ これまでの社会は・・・

- * 共通の目標がある（楽）
 - * 復活した管理教育
 - * 指示と指導
 - * 評価と報酬
- ⇒ 横並びの社会

← 今の若者にはない感覚

「教える」⇔「教えられる」の従来の関係性を見直す

→ 新しいコミュニケーションの実践が必要（一緒に立つ立場で一緒に進む）

新しいコミュニケーションの構築のために（例えば）

◇ JK課 ⇔ 市民協働／市民主役

- * JK（女子高校生）をリスペクトできるか
- * 枠組みを与えずゆるい関係を楽しめるか
- * ゆるい市民による「非日常」と「日常」の改革

↓
「成功より成長」という、日常的なプロセスを楽しめるか

（そのためには）

「オープンステージが必要」
→ 無目的で非生産的なおしゃべりの中に新しいくらしの豊かさへのヒントが流れている

目的を明確にしましょう → 「X」
ゴール（目的）をつくること → 「X」

↓
多様な「価値観」を認め、「ゆるい」関係をつくる

これからの魅力あるまちづくりの point
今ある常識や価値観を一度疑ってみる

◎ 研修のご案内 ◎

遠隔学習プログラム研修講座
（知識技術の習得と指導者の養成）
10月24日（金） かでの2・7

生涯学習推進専門講座
（生涯学習推進の専門的な知識や技術の習得）
11月6日（木）～7日（金） かでの2・7



●本研修会事業報告書について●

「生涯学習ほっかいどう」トップページの「生涯学習推進センター情報（<http://manabi.pref.hokkaido.jp/>）並びに「平成26年度主催講座一覧」（<http://manabi.pref.hokkaido.jp/center/jigyoh26/index.html>）に掲載していますので、本研修会だよりとあわせて御覧ください。また、本研修講座の内容や資料についてのお問い合わせは、担当：會田 ☎ 011-231-4111（内線36-326）まで御連絡ください。